

## 〈意見交換テーマ 1〉

子どもの居場所づくりについて

# 子どもの居場所づくりの 基本的な視点

- 【ふやす】 多様な子どもの居場所がえられる
- 【つなぐ】 子どもが居場所につながる
- 【みがく】 子どもにとって、より良い居場所となる
- 【ふりかえる】 子どもの居場所づくりを検証する

「子どもの居場所づくりに関する指針」(こども家庭審議会)より

# 各視点に共通する事項

- ① 子どもの声を聞き、子どもの視点に立ち、  
子どもとともに作る居場所
- ② 子どもの権利の擁護(かばい守ること)
- ③ 官民の連携・協働

# 吉田町 地域教育推進事業例 1

| 事業名          | 内 容                                                          |
|--------------|--------------------------------------------------------------|
| 地域教育推進事業     | 住民主導の下で地域の教育力の向上を図り、地域の子どもは地域で育むために自然体験や季節行事、通学合宿などを行う。      |
| 放課後子ども教室推進事業 | TCPトリビンスプラン実施に伴い、児童が13時30分に下校する4時間授業日に対応した放課後子ども教室を各学校で実施する。 |
| 家庭教育学級事業     | 町内3小学校1年生保護者及び中学校1年生保護者を対象に各学校、運営委員会を中心に学習計画を立て講座を開講する。      |
| 学校外活動推進事業    | 保護者と教師の社会教育活動を推進するため、活動に対して財政援助を行う。                          |

# 吉田町 地域教育推進事業例 2

| 事業名               | 内 容                                                                 |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 青少年野外活動事業         | 野外活動を通して、青少年の心と体を養い、社会に貢献する人物に成長することを目的とした活動をする。                    |
| チャレンジサマー<br>ステイ事業 | 学校や学年を越えた仲間と活動し、学校や吉田町内ではあまり体験できない自然体験活動を行う。(毎年8月に開催)               |
| チャレンジ教室<br>事業     | 地域の大人による様々な体験教室を開催し、様々な体験活動の場を提供する。<br>(R4年開講数は18教室)                |
| 地域学校協働<br>本部事業    | 地域住民や団体の窓口である統括コーディネーターと学校の窓口であるCSディレクターが中心となり、様々な地域学校活動をコーディネートする。 |

# 放課後子ども教室



住吉小学校放課後のびのび教室  
2024年1月10日